安全データシート

改訂日：2025年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	くえん酸一水和物
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁眼3番11号
電話番号	(06)6231-3555（大阪・本社） (03)3246-2311（東京）　(0268)22-5910（上田） (052)504-2221（名古屋）(082)537-0290（広島）
整理番号	BC0027

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性（経口）：区分5 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2B

ラベル要素

絵表示又はシンボル	—
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害 眼刺激
注意書き	【安全対策】 取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 【応急措置】 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。 【保管】 容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	くえん酸一水和物
別名	くえん酸（結晶）
化学式又は構造式	HOOCCH2C(OH)(COOH)CH2COOH・H2O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN：5949-29-1
成分及び含有量	99.5%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-1318/公表
その他	HSコード：2918.14

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。 多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	該当情報なし。
応急処置をする者の保護	該当情報なし。
医師に対する特別注意事項	該当情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
二次災害の防止策	該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気）	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込みを避けること。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 排気用の換気を行うこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。
混触危険物質	強塩基、酸化剤
容器包装材料	ポリプロピレン／ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具	呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	不浸透性の保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
融点/凝固点	135℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	1010℃
分解温度	175℃
pH	1.7（20℃、100g/L）
溶解度	59.2 g/100 mL
n-オクタノール/水分配係数	log Pow = -1.72
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.5g/cm^3
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の保管条件において安定である。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	熱、日光
混触危険物質	酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物	該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	無水物のデータとして経口-ﾗｯﾄLD50が3000mg/kgであることから経口は区分5とした。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	無水物（CAS RN:77-92-9)の10%溶液は、1週間にわたり軽度の結膜刺激を引き起こすとの記述がある。そのため、区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	短期（急性）: 無水物（CAS RN:77-92-9)は、淡水魚／ミジンコ／藻類に対して、また試験された少数の海洋生物種に対して急性毒性は低いとの報告がある。そのため区分外とした。 長期（慢性）: 長期も同様に毒性が低いと考えられるため、区分外とした。

残留性・分解性	良分解性
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 空容器の処理を委託する場合、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき有害物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。

16. その他の情報

引用文献	国際化学物質安全性カード (ICSC) NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) GESTIS物質データベース OECD:CCAP-SIAP/ITAP翻訳文書(一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。